

平成 24 年度
牧之原市 市民意識調査
～ 報 告 書 ～

平成 24 年 9 月
牧 之 原 市

目 次

1	調査の概要	1
	1) 調査の目的	1
	2) 調査項目	1
	3) 調査の設計	1
	4) 回収状況	1
2	調査結果	2
	1) 調査結果の要約	2
	2) 調査結果の詳細	5
	< 牧之原市での暮らしについて >	5
	< 原子力発電について >	9
	< 牧之原市の行政サービスについて >	10
	< 回答者の属性 >	21
3	調査票	22

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、「第1次牧之原市総合計画」の「後期基本計画(平成23～27年度)」及び「実施計画」(戦略プラン)に基づいた様々な取り組みに対し、市民の生活環境やまちづくりの進め方についての評価・意見を把握し、今後の市政に反映させることを目的に実施する。

2) 調査項目

- ・ 牧之原市での暮らしについて
- ・ 原子力発電について
- ・ 牧之原市の行政サービスについて
- ・ 日ごろ思うこと(自由意見)
- ・ 回答者の属性

3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住(市内に住民票がある人)の20歳以上の男女
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成24年7月19日～平成24年8月15日
- ・ 発送数：1,295通(1,300人抽出のうち転居等で5通は不達)

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,295人	530人	40.9%

抽出数は1,300人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない5人については対象外とした
回収数533人のうち無効票3人

報告書を見る際の注意事項

回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してある。

百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

2 調査結果

1) 調査結果の要約

牧之原市での暮らしについて

牧之原市に「住み続けたい」は6割

今の住まいの場所での定住意向は、「住み続けたい」が60.0%で最も多く、前回の平成23年度結果よりもやや減少している。一方、「市外へ移りたい」は20.4%で、昨年度よりもやや増加している。

他の地域へ移りたい理由のトップは、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」で約7割

他の地域へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が71.7%で最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が32.2%、「医療や介護の環境が良くないから」が29.6%、「通勤や通学などに交通面が不便だから」が27.0%の順となっている。

今現在、幸せだと思う人は約7割

今現在、「幸せだと思う」(「大いに思う」+「ある程度思う」)と回答した人は70.6%で、約7割となっている。一方、「幸せだと思わない」(「あまり思わない」+「まったく思わない」)と回答した人は9.8%と、約1割にとどまっており、幸福感は高いと思われる。

原子力発電について

浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が6割近くを占める

浜岡原子力発電所の今後については、「停止しておいたほうがよい」が57.4%と、過半数を占めており、昨年度よりも3.8ポイント増加している。一方、「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は18.5%で、昨年度よりも1.3ポイント減少している。

牧之原市の行政サービスについて

《みんなが主役 想いが実現するまち》

「行政改革の取り組み」の満足度が最も低い

《みんなが主役 想いが実現するまち》の分野では、「広報紙などによる十分な情報発信」を除く全項目で満足度の評価【-2点から2点の相対評価】はマイナス値となっている。特に、『行政改革の取り組み』の満足度の評価点は-0.55点で最も低く、一方、重要度の評価点は0.65と比較的高く、この分野では最も改善が必要なものとなっている。

《支えあい学びあう幸せのまち》

「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」は重要度が最も高く、満足度の減少幅は最大

《支えあい学びあう幸せのまち》の分野では、『学校や地域で子どもを守る取り組み』『幼稚園・保育園の整備』を含む8項目において、比較的満足度も重要度も評価点が高くなっている。一方、『救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は重要度の評価点が1.12点と全項目中最も高い。また、満足度の評価点は-0.60で、前年度の満足度の評価点(-0.12)よりも0.48減少し、最も満足度が低下した項目となっている。

《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》

全ての項目で満足度がマイナス評価、重要度がプラス評価

《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》の分野では、全ての項目で満足度の評価点がマイナス値で、重要度の評価点はプラス値となっている。特に、『企業誘致の取り組み』は、満足度の評価点が-0.93点と低く、重要度の評価点は0.77で最も高くなっている。

《うみ・そら・みどりと共生するまち》

生活環境対策・消防体制・上水道施設に関する取り組みの満足度が高い

《うみ・そら・みどりと共生するまち》の分野では、『生活環境対策などへの取り組み』『消防体制の整備への取り組み』『上水道施設整備の取り組み』が、満足度も重要度も高くなっている。しかし、その他の項目の重要度の評価点はいずれも高いものの、満足度の評価点は低くなっている。

～ 全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位 ～

満足度

重要度

順位	取り組み	分野	満足度			順位	取り組み	分野	重要度		
			24年度 (A)	23年度 (B)	差 (A)-(B)				24年度 (A)	23年度 (B)	差 (A)-(B)
1	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.59	0.43	0.16	1	救急医療体制の整備、棟原総合病院の診療体制		1.12	1.25	-0.13
2	教養を高める機会・サークル活動への参加機会の提供		0.37	0.39	-0.02	2	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		1.12	1.21	-0.09
3	幼稚園・保育園の整備		0.34	0.30	0.04	3	乳幼児医療費制度		1.08	1.02	0.06
4	乳幼児医療費制度		0.29	0.34	-0.05	4	自主防災組織の強化のための取り組み		1.08	1.14	-0.06
5	小・中学校施設の整備		0.29	0.24	0.05	5	生活環境対策などへの取り組み		1.03	0.78	0.25
6	健康相談などの日常的な保健活動		0.21	0.30	-0.09	6	小・中学校施設の整備		1.00	1.12	-0.12
7	健康づくりサービスの推進		0.19	0.25	-0.06	7	幼稚園・保育園の整備		0.99	1.09	-0.10
8	生活環境対策などへの取り組み		0.14	-0.03	0.17	8	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.97	1.00	-0.03
9	市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信		0.10	0.22	-0.12	9	消防体制の整備への取り組み		0.96	1.06	-0.10
10	子育て支援の取り組み		0.06	-0.02	0.08	10	子育て支援の取り組み		0.94	0.71	0.23
11	上水道施設整備の取り組み		0.03	0.32	-0.29	11	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		0.89	-	-
12	消防体制の整備への取り組み		0.01	-0.07	0.08	12	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.88	0.94	-0.06
13	地区公民館などの活動拠点の施設整備		-0.03	0.03	-0.06	13	福祉施設などの整備		0.87	0.88	-0.01
14	高齢者への福祉サービスの取り組み		-0.04	0.11	-0.15	14	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		0.86	0.89	-0.03
15	障がい者への福祉サービスの取り組み		-0.04	0.10	-0.14	15	道路交通の安全対策		0.85	0.78	0.07
16	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		-0.06	0.05	-0.11	16	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.80	0.85	-0.05
17	文化や歴史の活用などの取り組み		-0.07	-0.03	-0.04	17	企業誘致の取り組み		0.77	0.52	0.25
18	自主防災組織の強化のための取り組み		-0.08	-0.13	0.05	18	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		0.76	0.80	-0.04
19	家庭や地域での子どもたちの教育力向上への取り組み		-0.11	-0.10	-0.01	19	健康づくりサービスの推進		0.75	0.64	0.11
20	茶業安定のための施策の取り組み		-0.11	-0.28	0.17	20	道路や河川の補修や道路や河川の整備		0.74	0.63	0.11
21	公共スポーツ施設の整備		-0.20	-0.06	-0.14	21	家庭や地域での子どもたちの教育力向上への取り組み		0.73	0.72	0.01
22	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み		-0.21	-0.17	-0.04	22	上水道施設整備の取り組み		0.73	0.75	-0.02
23	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		-0.27	-0.18	-0.09	23	市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信		0.72	0.71	0.01
24	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		-0.28	-0.37	0.09	24	健康相談などの日常的な保健活動		0.70	0.50	0.20
25	公園・緑地の管理や整備の取り組み		-0.29	-0.21	-0.08	25	特産品の消費推進の取り組み		0.66	0.56	0.10
26	特産品の消費推進の取り組み		-0.30	-0.36	0.06	26	行政改革の取り組み		0.65	0.64	0.01
27	自治会の住民自治活動への支援		-0.32	-0.34	0.02	27	公害防止対策への取り組み		0.64	0.40	0.24
28	自然環境の保全への取り組み		-0.32	0.02	-0.34	28	茶業安定のための施策の取り組み		0.57	0.61	-0.04
29	公害防止対策への取り組み		-0.33	0.00	-0.33	29	自然環境の保全への取り組み		0.57	0.34	0.23
30	福祉施設などの整備		-0.36	-0.13	-0.23	30	公共交通の充実		0.57	0.49	0.08
31	各種イベントの開催		-0.37	0.06	-0.43	31	空港を活用するための取り組みの推進		0.54	0.19	0.35
32	情報通信技術の環境整備の取り組み		-0.42	-0.22	-0.20	32	商店街の魅力向上の取り組み		0.52	0.37	0.15
33	音楽や演劇などの接する機会の提供		-0.45	-0.35	-0.10	33	商工業の振興施策の取り組み		0.51	0.39	0.12
34	道路交通の安全対策		-0.45	-0.46	0.01	34	自治会の住民自治活動への支援		0.48	0.37	0.11
35	道路や河川の補修や道路や河川の整備		-0.46	-0.50	0.04	35	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.48	0.35	0.13
36	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		-0.54	-0.61	0.07	36	観光誘客促進のための取り組み		0.47	0.27	0.20
37	行政改革の取り組み		-0.55	-0.70	0.15	37	情報通信技術の環境整備の取り組み		0.45	0.33	0.12
38	商工業の振興施策の取り組み		-0.55	-0.41	-0.14	38	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.44	0.33	0.11
39	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		-0.56	-0.45	-0.11	39	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み		0.42	0.34	0.08
40	サガラムなどの繁殖する藻場の復元への取り組み		-0.58	-0.61	0.03	40	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		0.42	0.25	0.17
41	救急医療体制の整備、棟原総合病院の診療体制		-0.60	-0.12	-0.48	41	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		0.42	0.43	-0.01
42	空港を活用するための取り組みの推進		-0.66	-0.50	-0.16	42	公園・緑地の管理や整備の取り組み		0.42	0.31	0.11
43	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		-0.71	-0.62	-0.09	43	農漁業の担い手への支援の取り組み		0.40	0.37	0.03
44	公共交通の充実		-0.71	-0.75	0.04	44	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		0.39	0.33	0.06
45	観光誘客促進のための取り組み		-0.73	-0.67	-0.06	45	公共スポーツ施設の整備		0.33	0.09	0.24
46	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		-0.78	-	-	46	教養を高める機会・サークル活動への参加機会の提供		0.32	0.13	0.19
47	商店街の魅力向上の取り組み		-0.79	-0.70	-0.09	47	各種イベントの開催		0.17	0.00	0.17
48	農漁業の担い手への支援の取り組み		-0.81	-0.85	0.04	48	文化や歴史の活用などの取り組み		0.13	0.01	0.12
49	企業誘致の取り組み		-0.93	-0.67	-0.26	49	サガラムなどの繁殖する藻場の復元への取り組み		0.12	0.13	-0.01
50	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		-1.03	-0.97	-0.06	50	音楽や演劇などの接する機会の提供		-0.04	-0.06	0.02

注) 「風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み」は、今年度新たに追加された項目
また、スペースの関係で、文言の一部を省略している項目がある

* 分野の凡例

 みんなが主役 想いが実現するまち

 支えあい学びあう幸せのまち

 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり

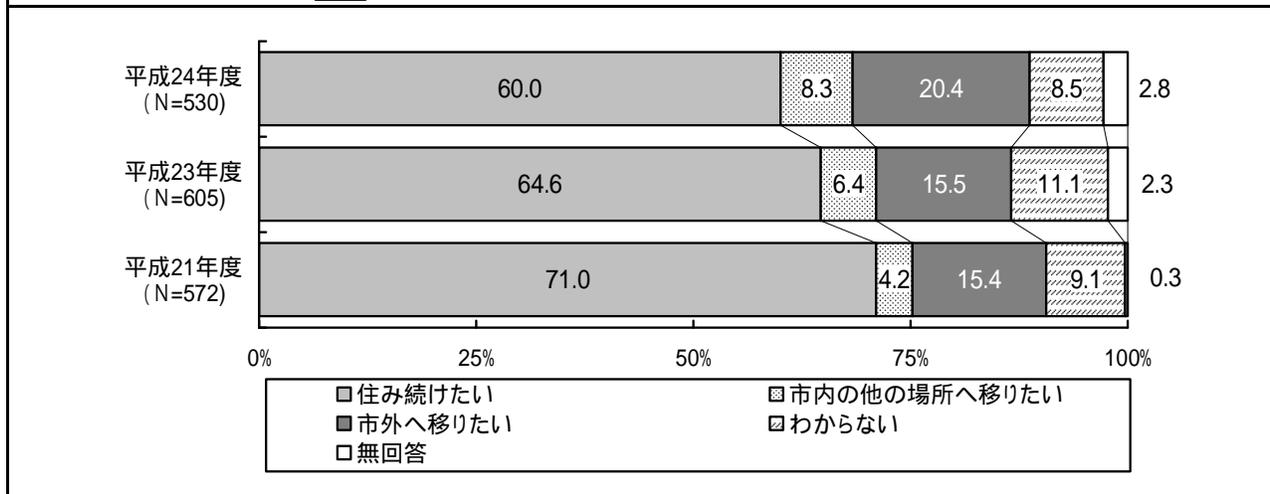
 うみ・そら・みどりと共生するまち

2) 調査結果の詳細

< 牧之原市での暮らしについて >

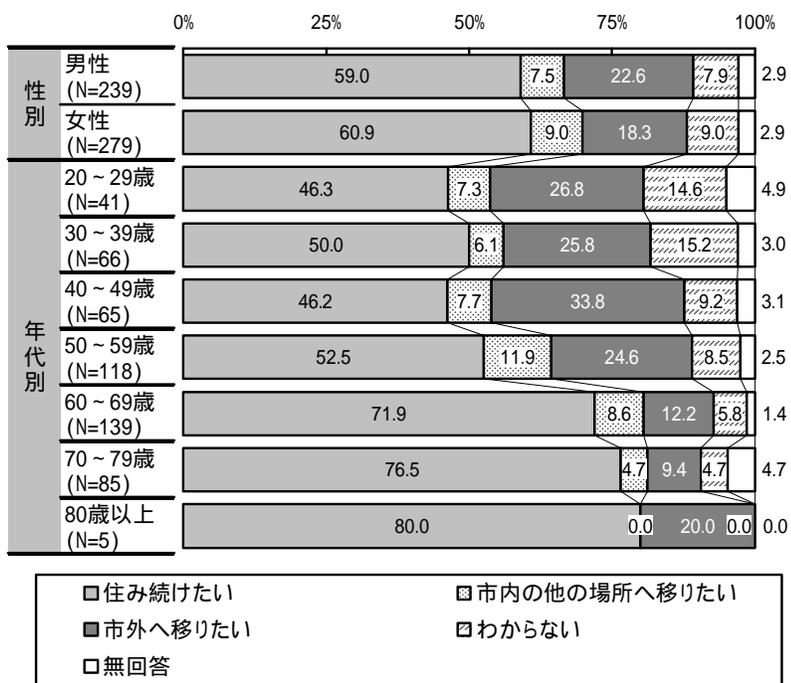
問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住みたいと思いますか？

あてはまるものに1つ 印をつけてください。



現在の住まいの場所での定住意向については、「住みたい」が60.0%で、最も高い。しかし、「市外へ移りたい」が昨年度より4.9ポイント高くなっていることなどから、「住みたい」は昨年度より4.6ポイント低く、年々減少している。

クロス集計



【性別】

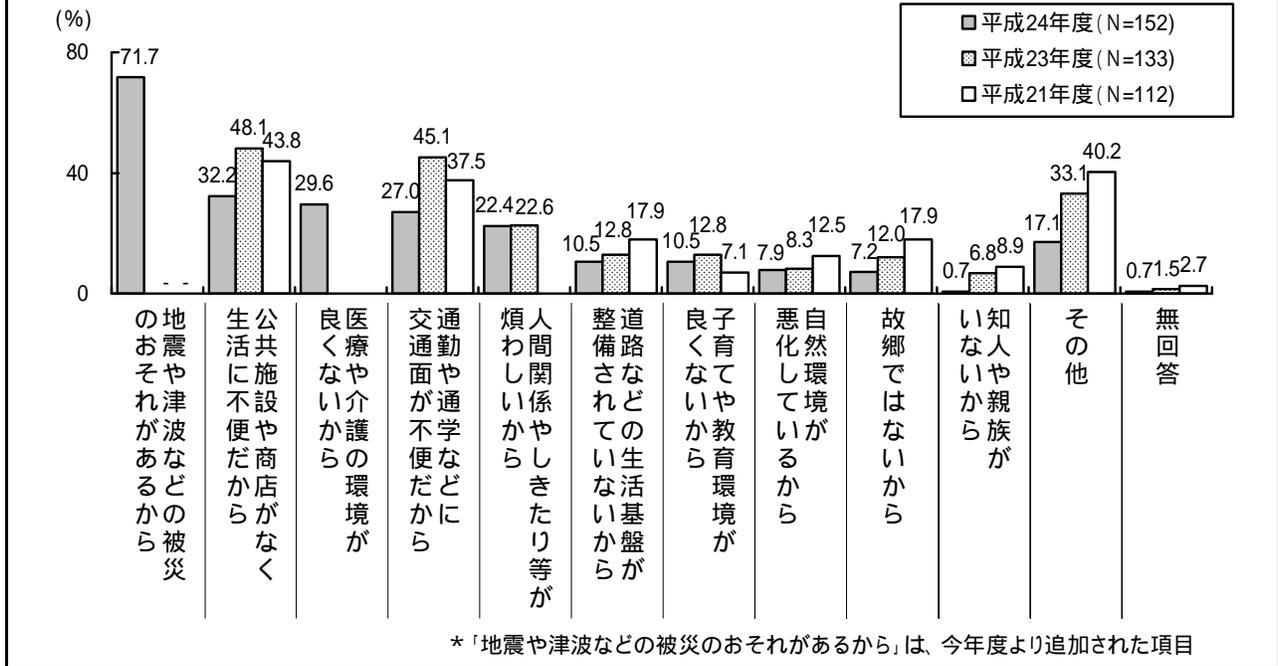
男性において「市外へ移りたい」が22.6%と、女性を4.3ポイント上回っている。

【年代別】

40代以降において年代が上がるほど「住みたい」が多く、特に60代以上においては7割を超えている。一方、40代以下においては「市外へ移りたい」が25%以上を占め、4人に1人は市外への転出意向がみられる。

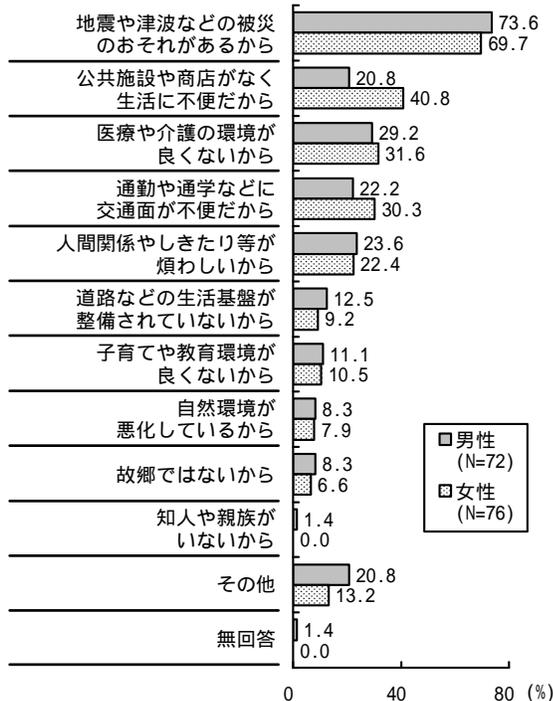
(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。



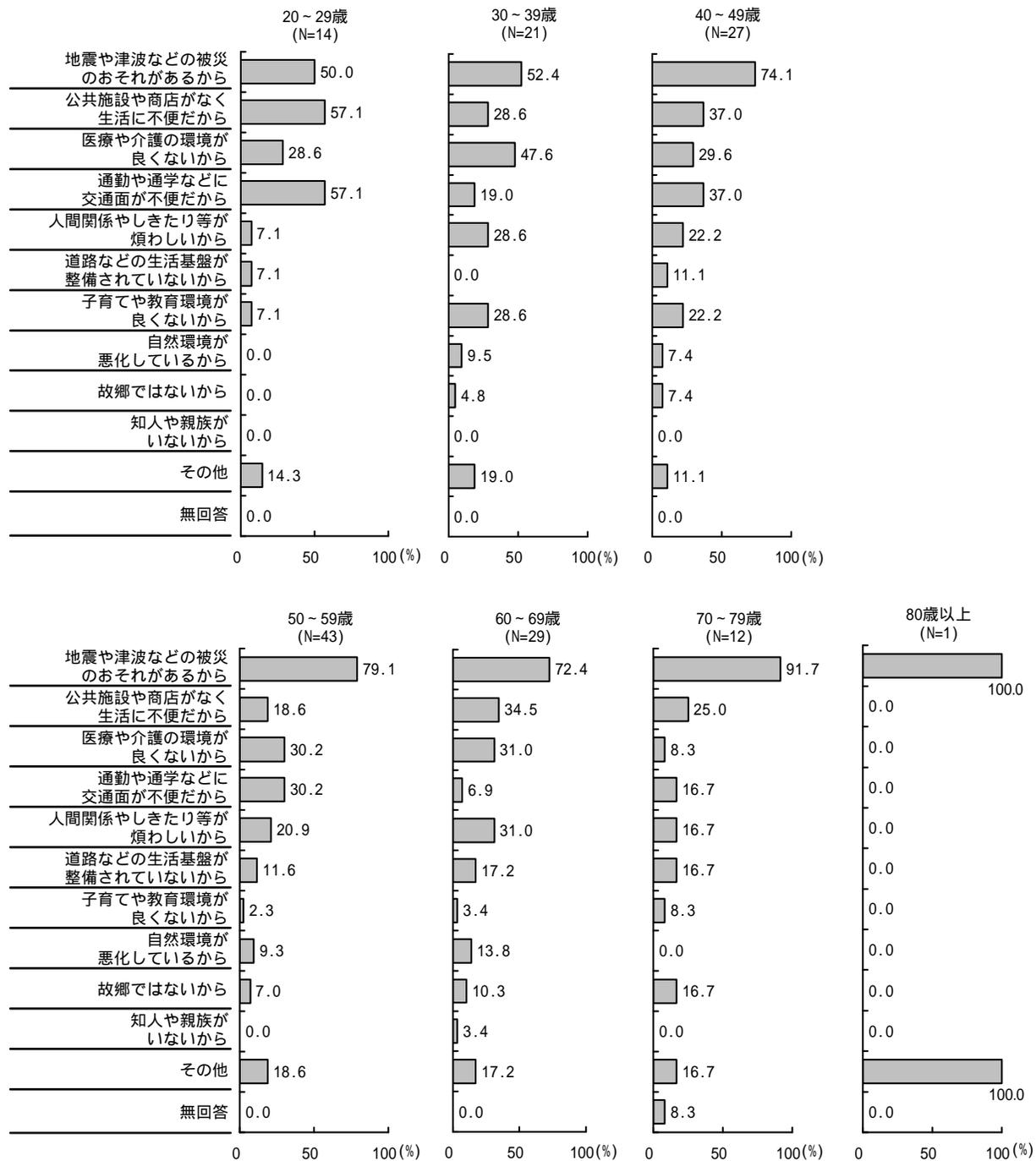
問1で「市内の他の場所へ移りたい」「市外へ移りたい」と回答した152人に他の地域へ移りたい理由についてうかがったところ、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が71.7%と最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が32.2%、「医療や介護の環境が良くないから」が29.6%などとなっている。新たに追加された「地震や津波などの被災のおそれがあるから」という項目に回答が集中しており、前回は下回る項目が多くみられる。

クロス集計



【性別】

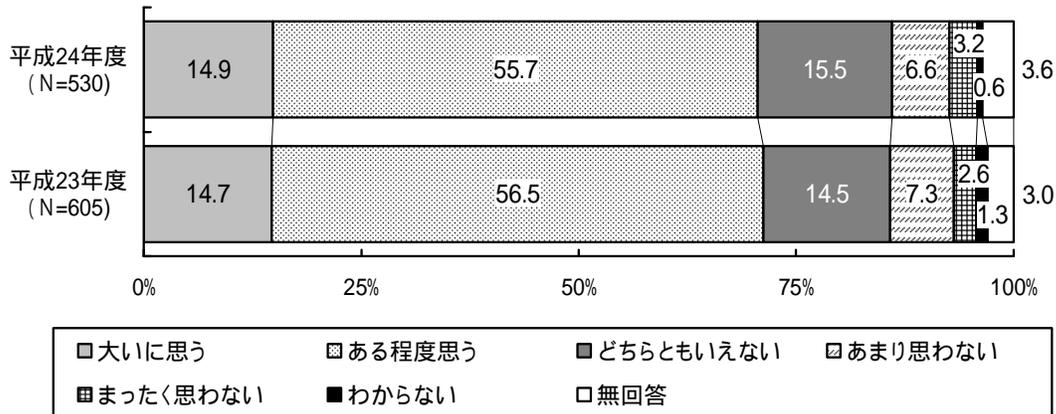
女性において「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が40.8%と、男性を20.0ポイント上回っている。また、「通勤や通学などに交通面が不便だから」も女性において30.3%と、男性を8.1ポイント上回っている。



【年代別】

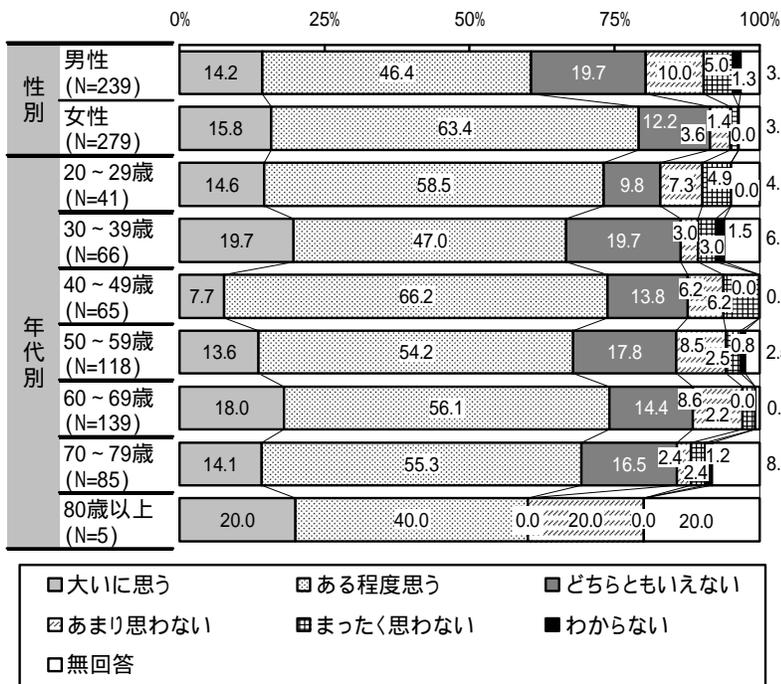
40代以上において「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が7割を超えて多くなっている。また、20代では「公共施設や商店がなく生活に不便だから」、「通勤や通学などに交通面が不便だから」が半数を超えて多く、30代、60代では「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が3割前後で比較的多くなっている。

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ印をつけてください。



今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が55.7%と過半数を占めている。次いで「どちらともいえない」が15.5%、「大いに思う」が14.9%などとなっている。「大いに思う」と「ある程度思う」の合計である“幸せだと思う”は70.6%、「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計である“幸せだと思わない”は9.8%となっている。昨年度とは大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

女性において「ある程度思う」が63.4%と、男性を17.0ポイント上回っている。一方、男性では“幸せだと思わない”が15.0%と1割を超え、女性を10ポイント上回っている。

【年代別】

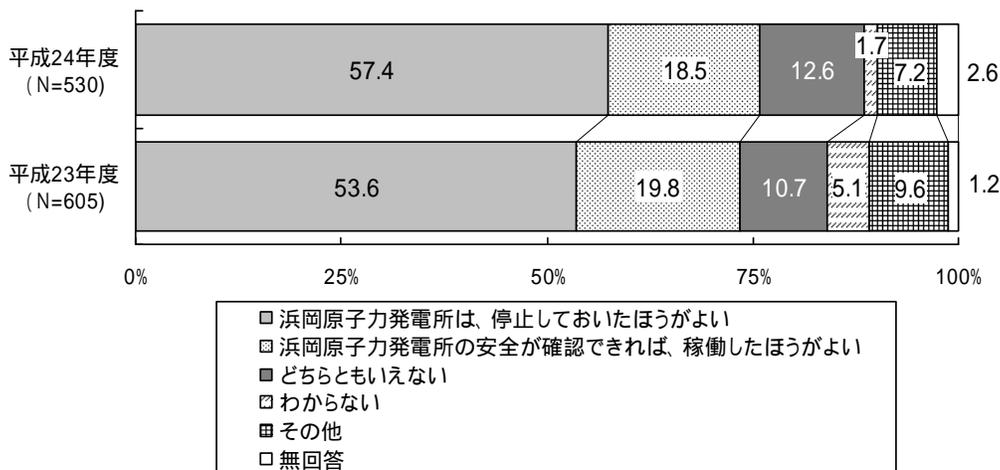
40代において「大いに思う」が7.7%と唯一1割を下回り、「ある程度思う」も唯一6割を超えている。また、20代、40代、60代では“幸せだと思う”が7割を超えている。

<原子力発電について>

牧之原市では、去年の9月議会で、市議会は浜岡原子力発電所の永久停止の決議を可決し、それを受け、市長は永久停止を表明しました。現在、隣接する御前崎市にある中部電力の浜岡原子力発電所では、各原子炉は国の要請により停止しており、津波対策が進められています。

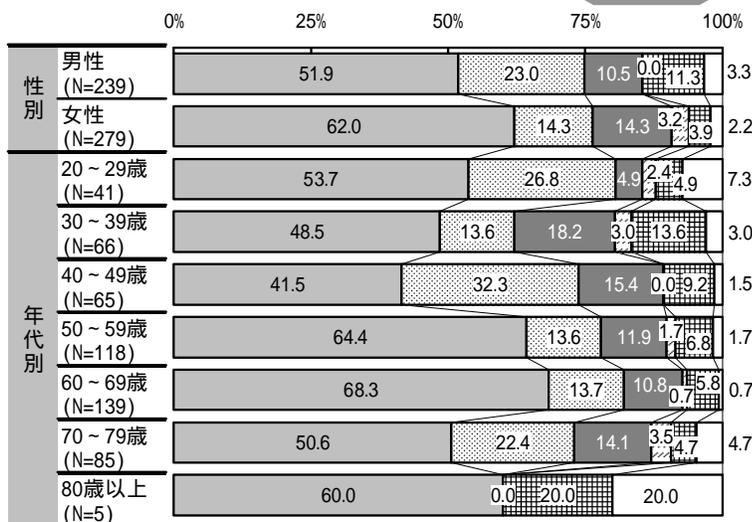
問4 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？

あてはまるものに1つ 印をつけてください。



浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が57.4%と過半数を占めている。一方、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は18.5%で、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」の半分に留まっている。昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」は3.8ポイント高くなっている。

クロス集計



- 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
- ▨ 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
- どちらともいえない
- わからない
- ▨ その他
- 無回答

【性別】

女性において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が62.0%と、男性を10.1ポイント上回っている。一方、男性では「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.0%と、女性を8.7ポイント上回っている。

【年代別】

40代における稼働希望が32.3%と最も多くなっている。一方、停止継続を望む割合は、50代、60代において6割を超えて多くなっている。

< 牧之原市の行政サービスについて >

問5 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？

また、その取り組みが重要であると考えますか？ 該当する欄に 印をお付けください。

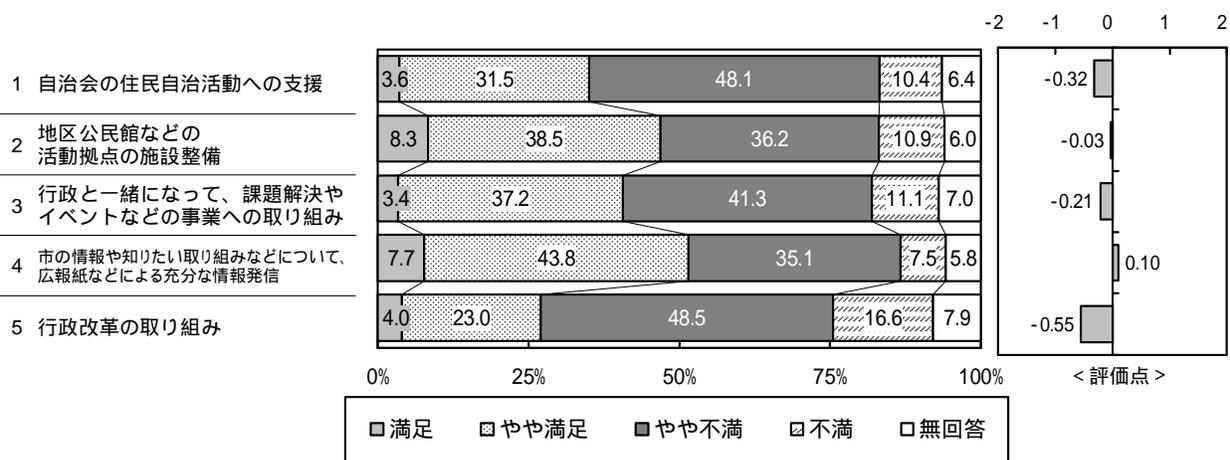
取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれることと思いますが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に 印をつけてください。

評価点の算出方法

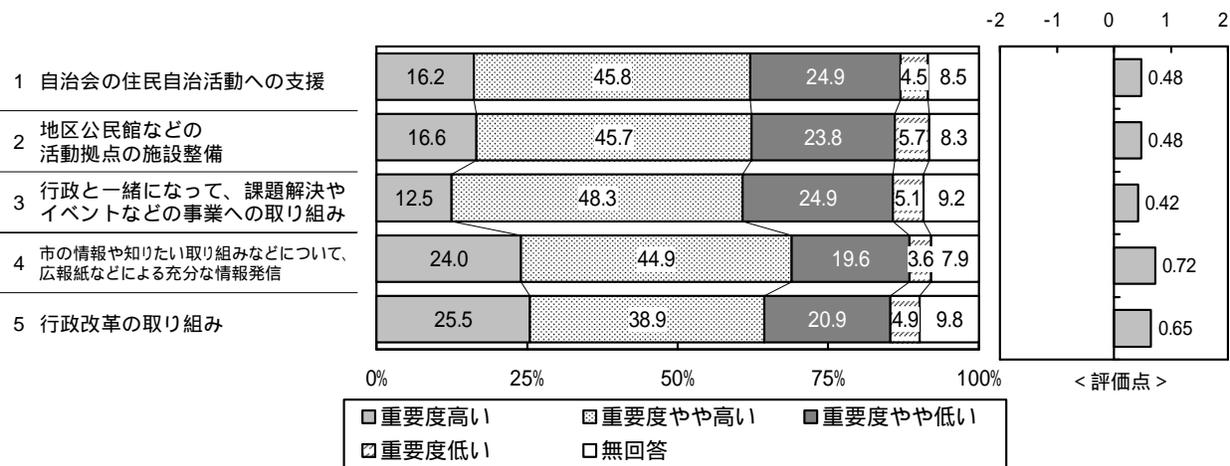
「満足」「重要度高い」と回答した人を+2点、「やや満足」「重要度やや高い」は+1点、「やや不満」「重要度やや低い」は-1点、「不満」「重要度低い」を-2点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者数を掛け、それらを合計した数字を回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割り、算出している。評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。

《 みんなが主役 想いが実現するまち 》

満足度

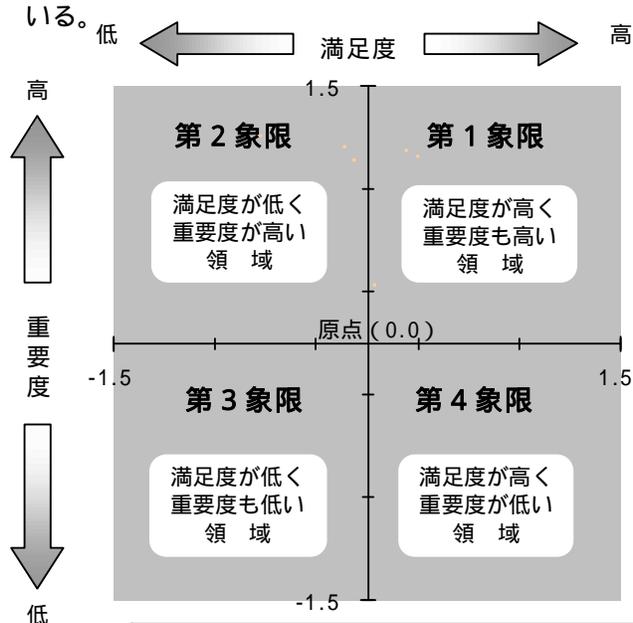


重要度



《みんなが主役 想いが実現するまち》で満足度が高いのは、『4 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』の 0.10 点であり、唯一プラスの評価点となっている。一方、『5 行政改革の取り組み』は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満である”が 65.1%と 6 割を超えており、評価点も -0.55 点と低くなっている。

《みんなが主役 想いが実現するまち》で重要度が高いのは、『4 市の情報や知りたい取り組みなどについて広報紙などによる十分な情報発信』の 0.72 点であり、満足度、重要度共に高い取り組みとなっている。次いで『5 行政改革の取り組み』が 0.65 点と高く、この 2 項目において 0.50 点を超えている。

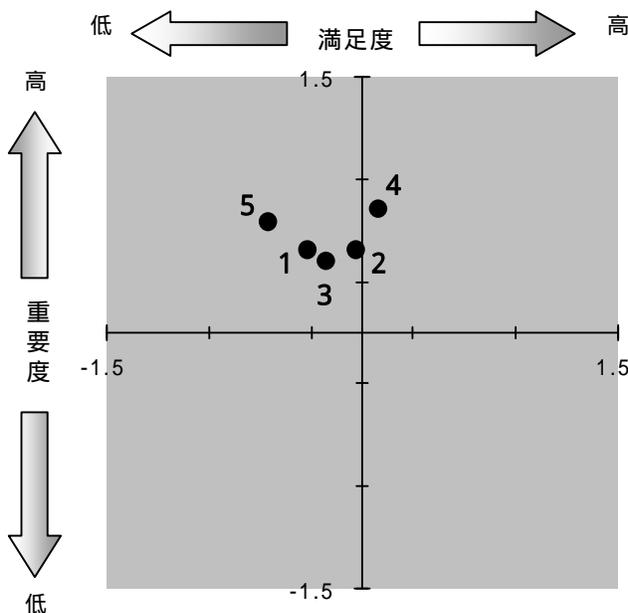


参考
各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図にした場合、左のグラフのように、4つの象限に評価をみることができる

* 散布図中の番号は、各取り組みの通し番号であるため、各散布図上記表を参照

《みんなが主役 想いが実現するまち》		満足度	重要度
1	自治会の住民自治活動への支援	-0.32	0.48
2	地区公民館などの活動拠点の施設整備	-0.03	0.48
3	行政と一緒にあって、課題解決やイベントなどの事業への取り組み	-0.21	0.42
4	市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.10	0.72
5	行政改革の取り組み	-0.55	0.65

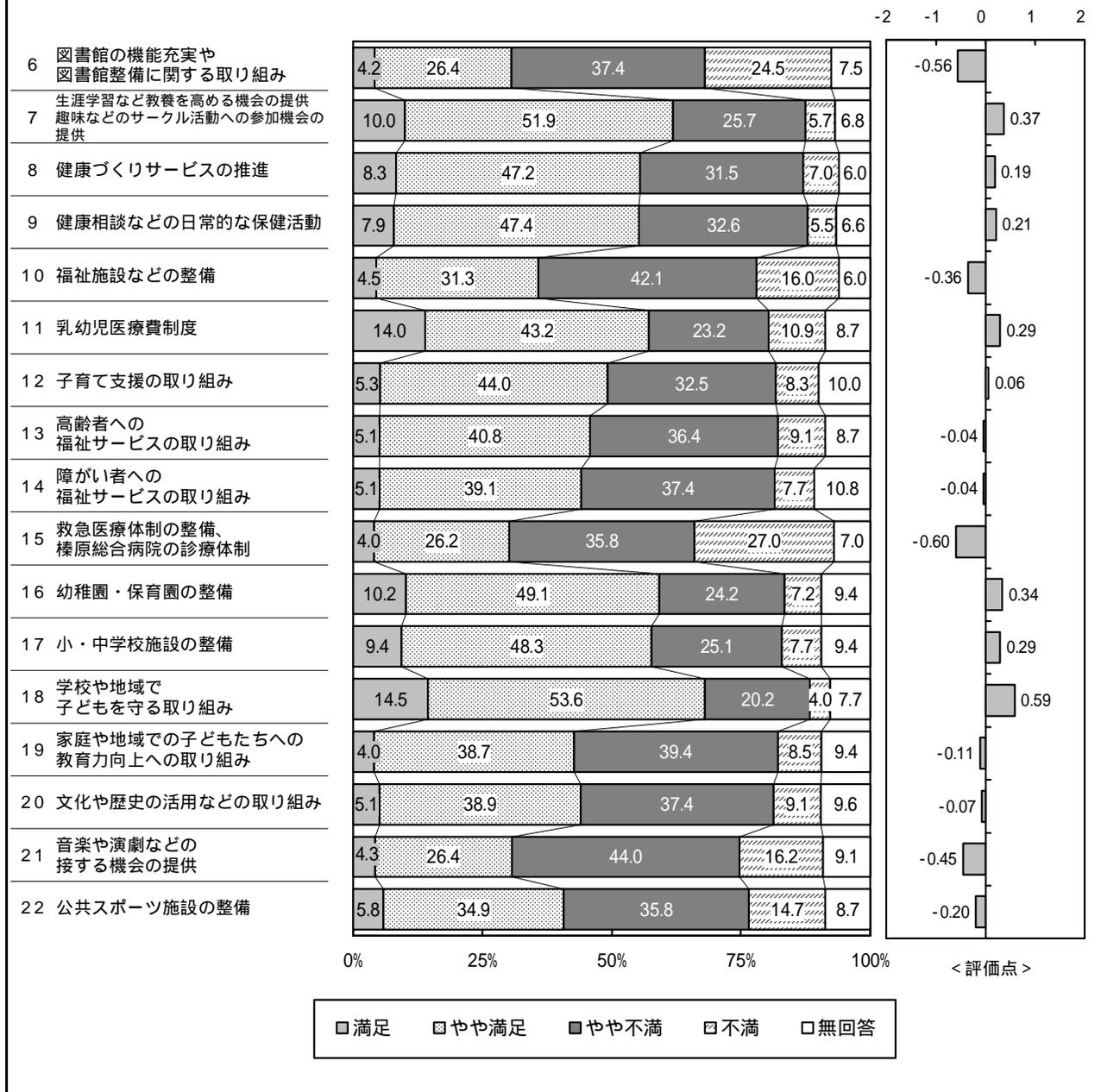
* スペースの関係で、文言の一部を省略している項目がある



散布図でみると、『4 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』が、満足度、重要度ともに高い第1象限の領域にある。それ以外の項目については、いずれも満足度がマイナスで重要度がプラスの第2象限の領域に位置している。

《 支えあい学びあう幸せのまち 》

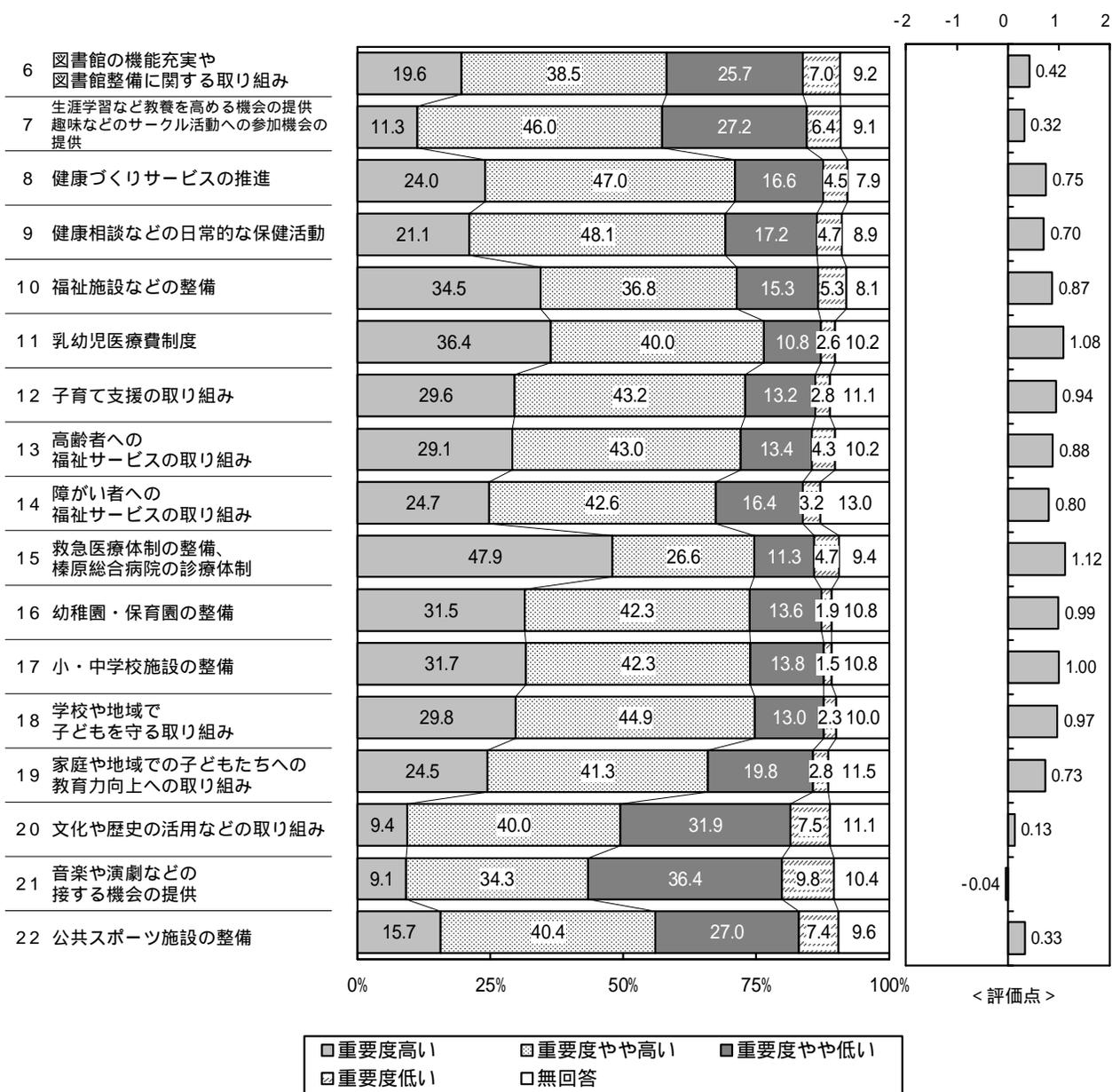
満足度



《支えあい学びあう幸せのまち》で満足度が高いのは、『18 学校や地域で子どもを守る取り組み』で、「満足」が1割を超えており、評価点が0.59点となっている。次いで『7 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供』が0.37点で続いている。一方、『15 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は、「不満」が27.0%と多く、評価点も-0.60点と低く、昨年度の評価点と比べると0.48低くなっており、減少幅は全項目の中で最も大きい。

《 支えあい学びあう幸せのまち 》

重要度

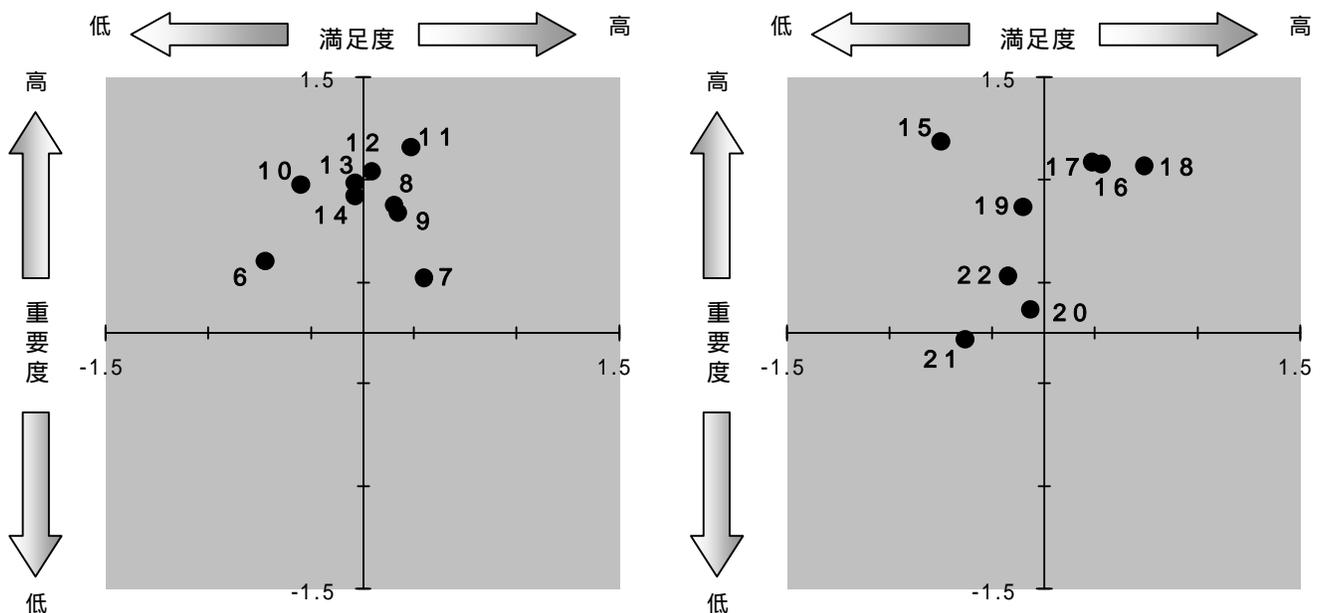


《支えあい学びあう幸せのまち》で重要度が高いのは、『15 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』で、「重要度高い」が47.9%と半数近くを占めており、評価点は1.12点で、全項目の中で最も高い評価点となっている。次いで『11 乳幼児医療費制度』が1.08点となっており、この2項目において1.00点を超えている。

《支えあい学びあう幸せのまち》		満足度	重要度
6	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.56	0.42
7	教養を高める機会の提供・サークル活動への参加機会の提供	0.37	0.32
8	健康づくりサービスの推進	0.19	0.75
9	健康相談などの日常的な保健活動	0.21	0.70
10	福祉施設などの整備	-0.36	0.87
11	乳幼児医療費制度	0.29	1.08
12	子育て支援の取り組み	0.06	0.94
13	高齢者への福祉サービスの取り組み	-0.04	0.88
14	障がい者への福祉サービスの取り組み	-0.04	0.80
15	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.60	1.12
16	幼稚園・保育園の整備	0.34	0.99
17	小・中学校施設の整備	0.29	1.00
18	学校や地域で子どもを守る取り組み	0.59	0.97
19	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み	-0.11	0.73
20	文化や歴史の活用などの取り組み	-0.07	0.13
21	音楽や演劇などの接する機会の提供	-0.45	-0.04
22	公共スポーツ施設の整備	-0.20	0.33

* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している

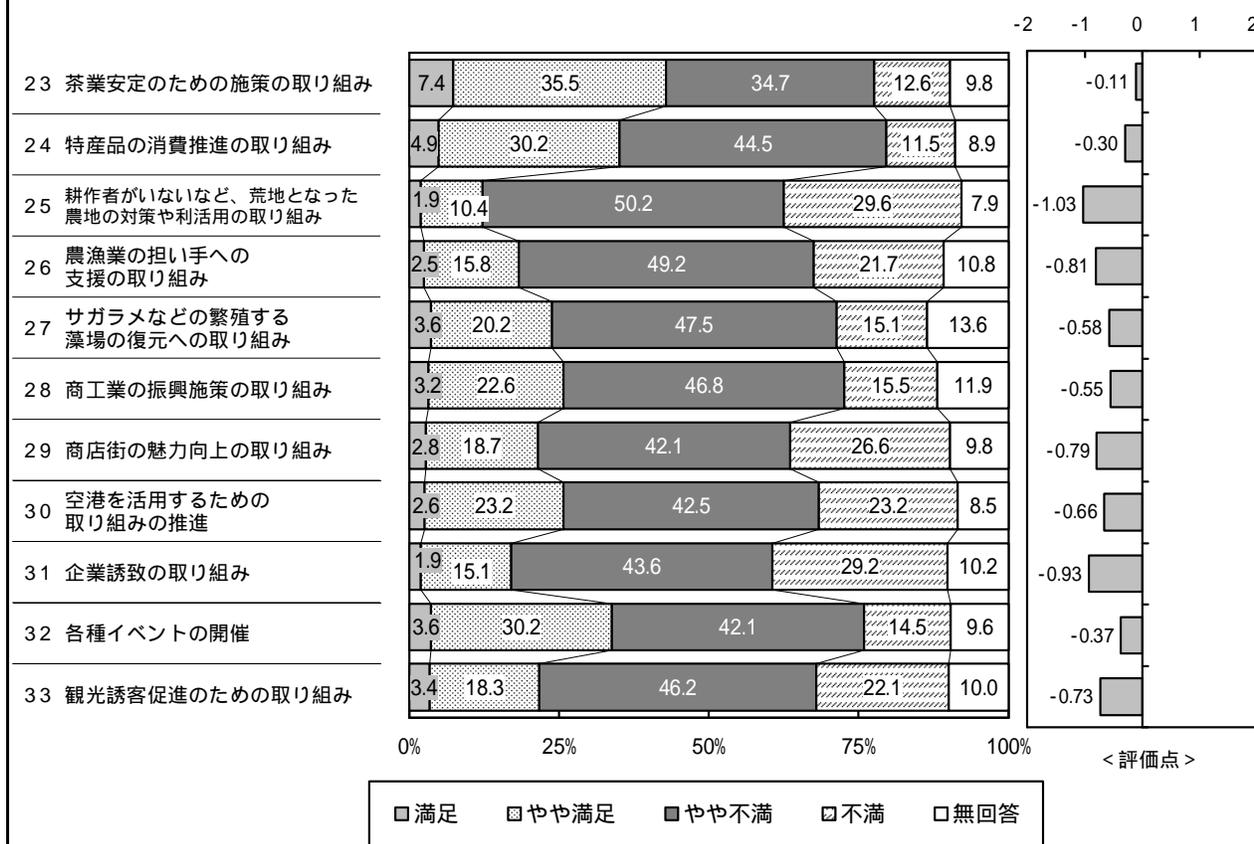
* スペースの関係で、文言の一部を省略している項目がある



散布図でみると、『15 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』が、第2象限の上方に位置しており、特に重要度が高くなっていることがわかる。また、『21 音楽や演劇などの接する機会の提供』を除く全ての項目で重要度は高くなっている。

《 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり 》

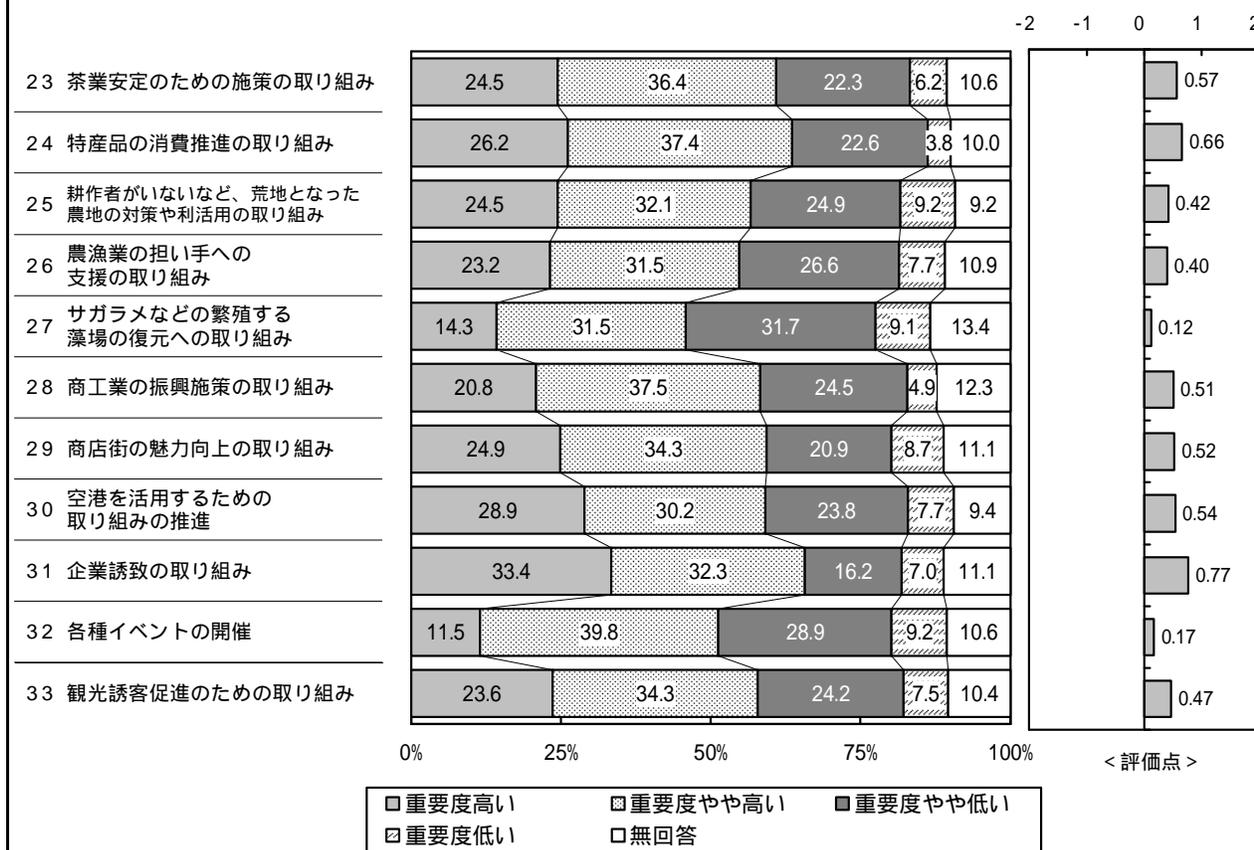
満足度



《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》で満足度が高いのは、『23 茶業安定のための施策の取り組み』で、評価点が-0.11点となっており、最も満足度が高い項目でもマイナスの評価点となっている。最も満足度が低い項目である『25 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』では、「やや不満」が唯一半数を超えており、評価点が-1.03点となっている。

《 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり 》

重要度

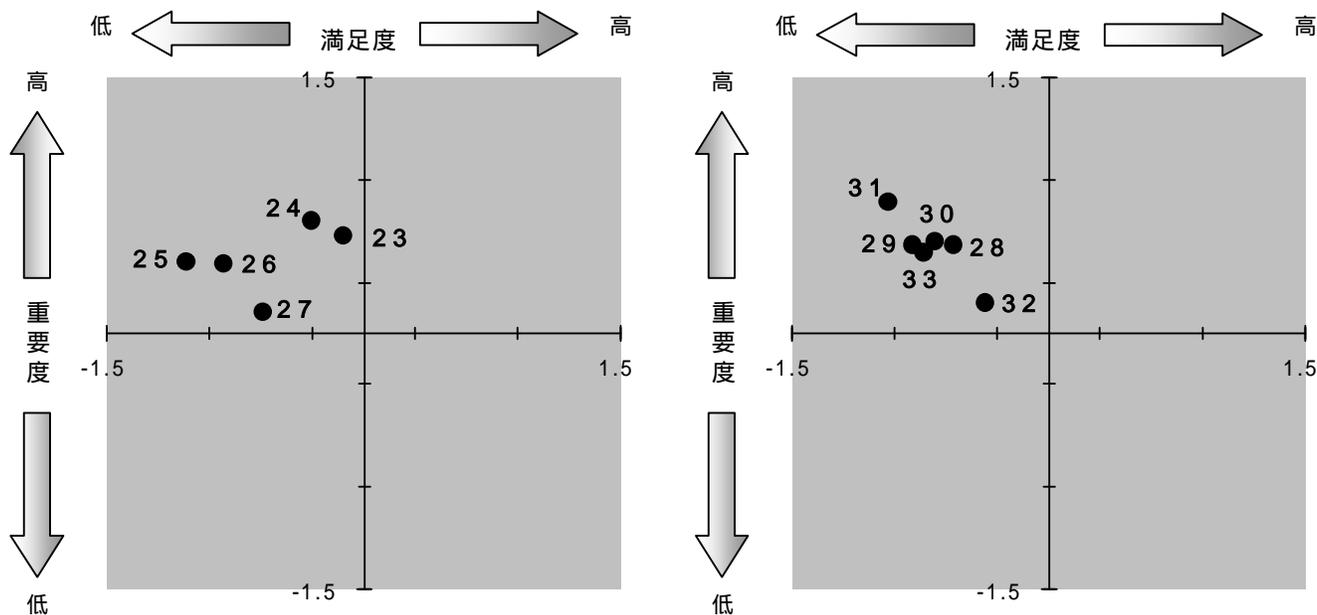


《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》で重要度が高いのは、『31 企業誘致の取り組み』で、「重要度高い」が 33.4%と、唯一 3 割を超え、評価点は 0.77 点となっている。次いで『24 特産品の消費推進の取り組み』が 0.66 点となっている。

《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》		満足度	重要度
23	茶業安定のための施策の取り組み	-0.11	0.57
24	特産品の消費推進の取り組み	-0.30	0.66
25	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-1.03	0.42
26	農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.81	0.40
27	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.58	0.12
28	商工業の振興施策の取り組み	-0.55	0.51
29	商店街の魅力向上の取り組み	-0.79	0.52
30	空港を活用するための取り組みの推進	-0.66	0.54
31	企業誘致の取り組み	-0.93	0.77
32	各種イベントの開催	-0.37	0.17
33	観光誘客促進のための取り組み	-0.73	0.47

* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している

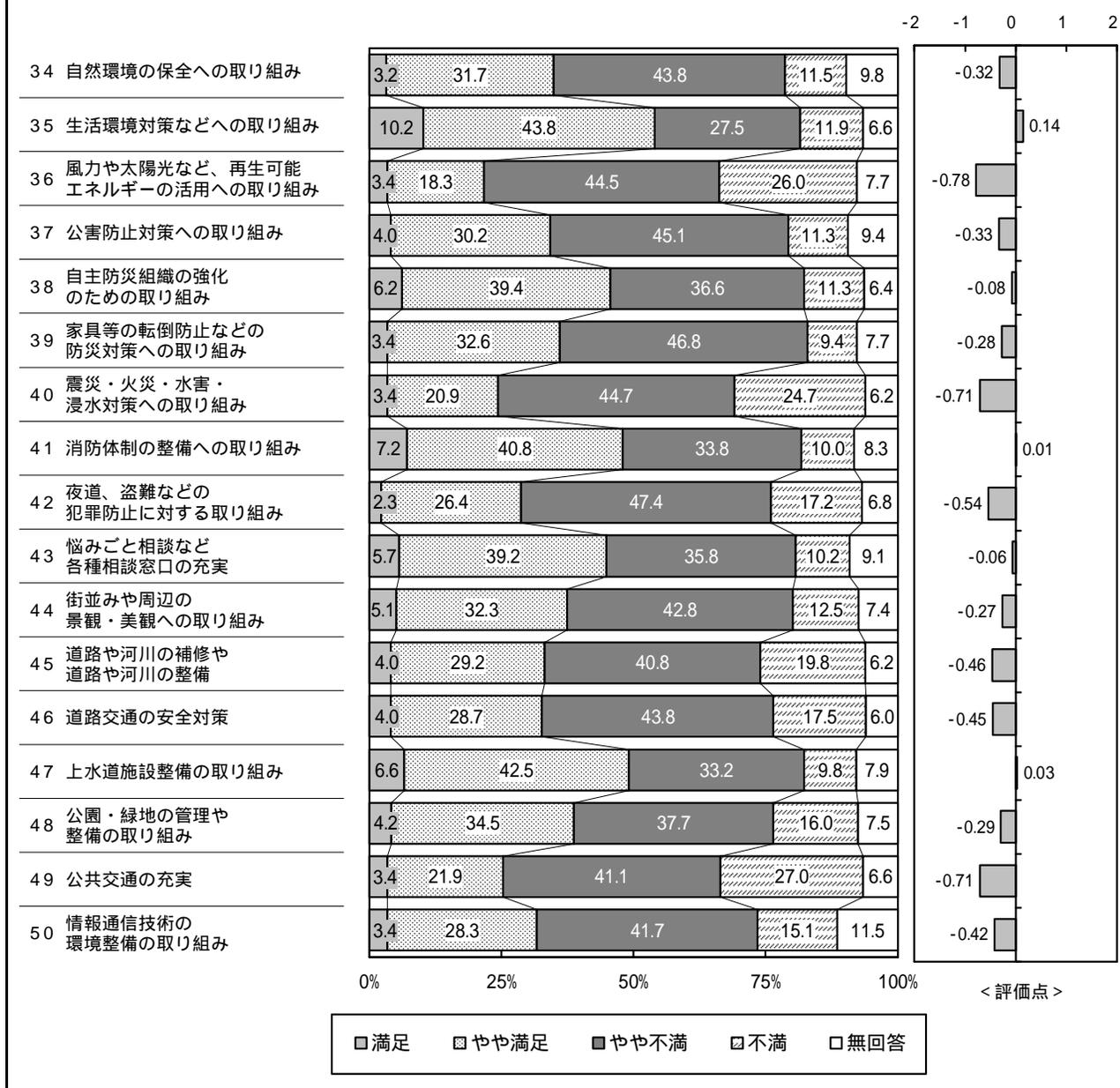
* スペースの関係で、文言の一部を省略している項目がある



散布図でみると、いずれの項目も重要度の評価点はプラスで、満足度の評価点はマイナスの第2象限に位置している。その中で、『25 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』は、全項目において最も満足度が低くなっている。

《 うみ・そら・みどりと共生するまち 》

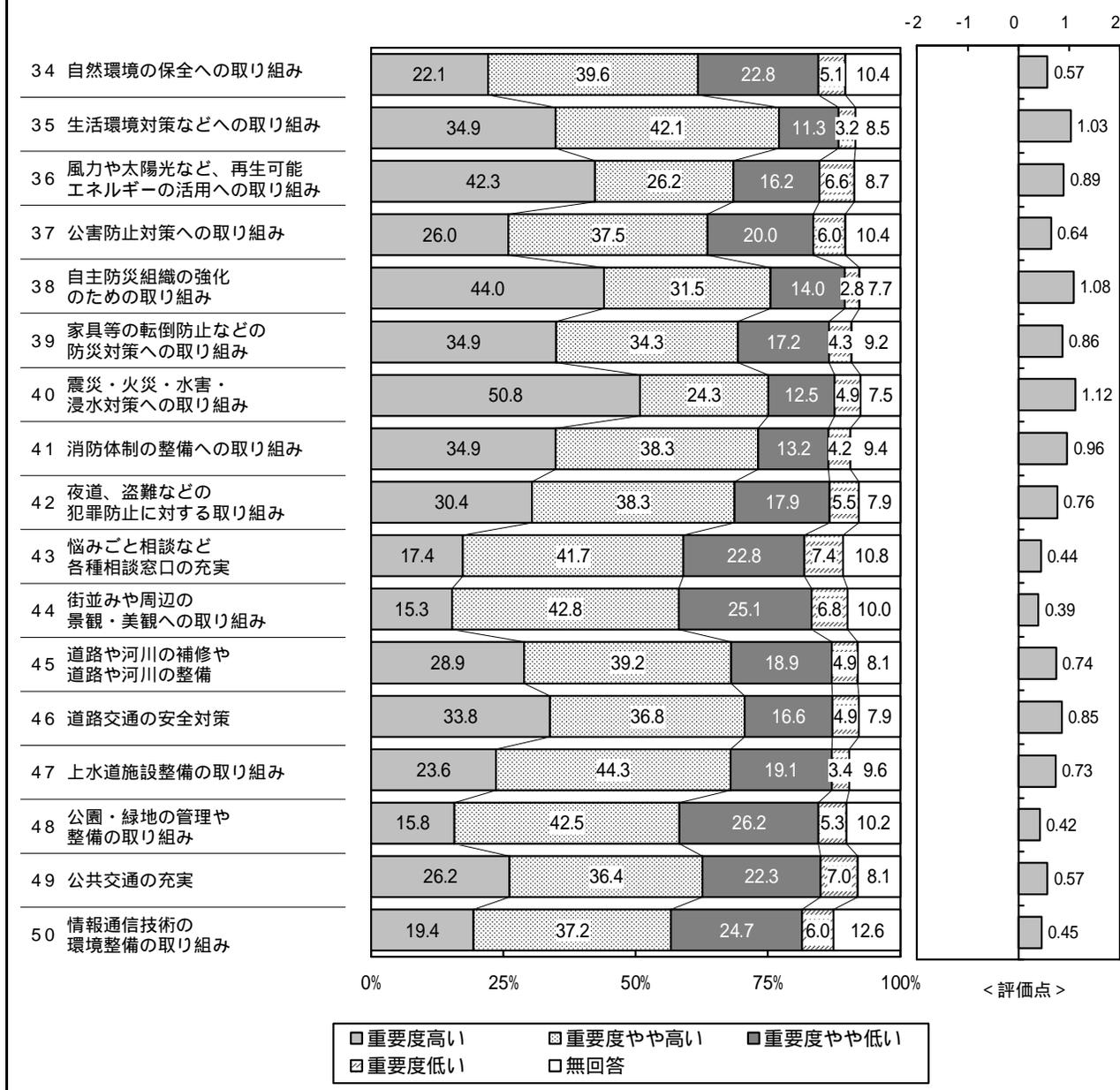
満足度



《うみ・そら・みどりと共生するまち》で満足度が高いのは、『35 生活環境対策などへの取り組み』で、「満足」が唯一1割を超えており、評価点が0.14点となっている。次いで『47 上水道施設整備の取り組み』が0.03点で続いている。一方、『49 公共交通の充実』では、「不満」が27.0%と高く、評価点も-0.71点と低い。しかし、うみ・そら・みどりと共生するまちに関する取り組みの中で、最も評価点が低いのは『36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み』で、-0.78点となっている。

《 うみ・そら・みどりと共生するまち 》

重要度

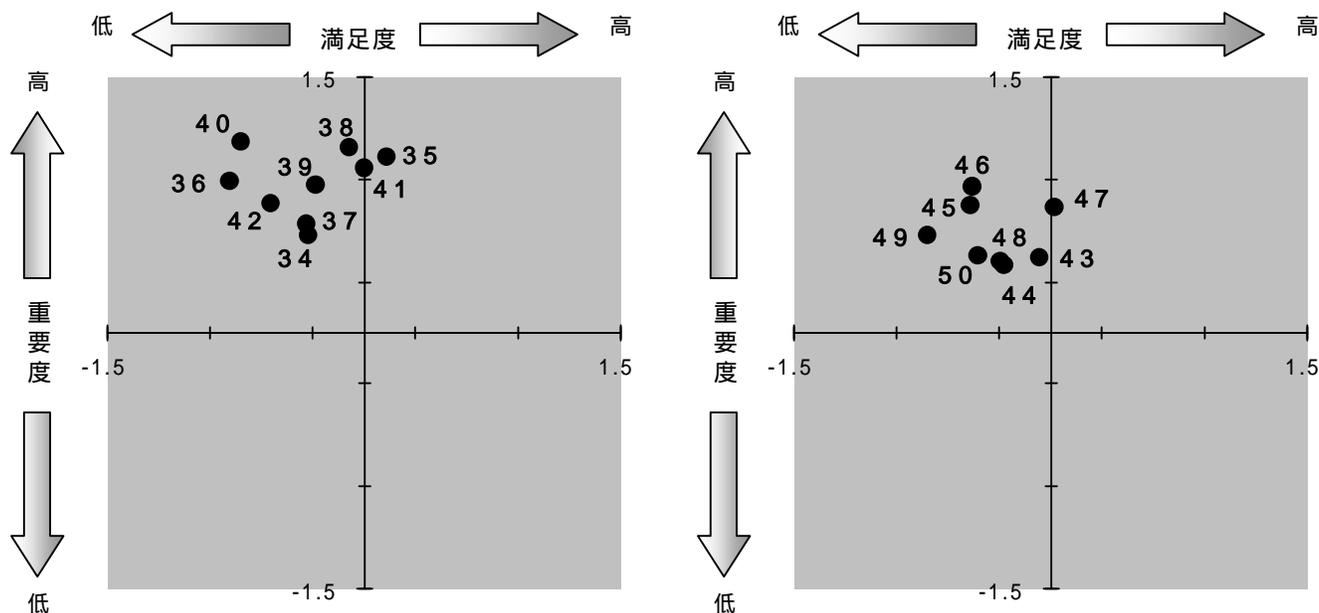


重要度が高いのは、『40 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「重要度高い」が50.8%と、唯一半数を超え、評価点は1.12点となっている。次いで『38 自主防災組織の強化のための取り組み』が1.08点、『35 生活環境対策などへの取り組み』が1.03点と続いており、この3項目において1.00点以上となっている。

《うみ・そら・みどりと共生するまち》		満足度	重要度
34	自然環境の保全への取り組み	-0.32	0.57
35	生活環境対策などへの取り組み	0.14	1.03
36	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	-0.78	0.89
37	公害防止対策への取り組み	-0.33	0.64
38	自主防災組織の強化のための取り組み	-0.08	1.08
39	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.28	0.86
40	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.71	1.12
41	消防体制の整備への取り組み	0.01	0.96
42	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.54	0.76
43	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	-0.06	0.44
44	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.27	0.39
45	道路や河川の補修や道路や河川の整備	-0.46	0.74
46	道路交通の安全対策	-0.45	0.85
47	上水道施設整備の取り組み	0.03	0.73
48	公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.29	0.42
49	公共交通の充実	-0.71	0.57
50	情報通信技術の環境整備の取り組み	-0.42	0.45

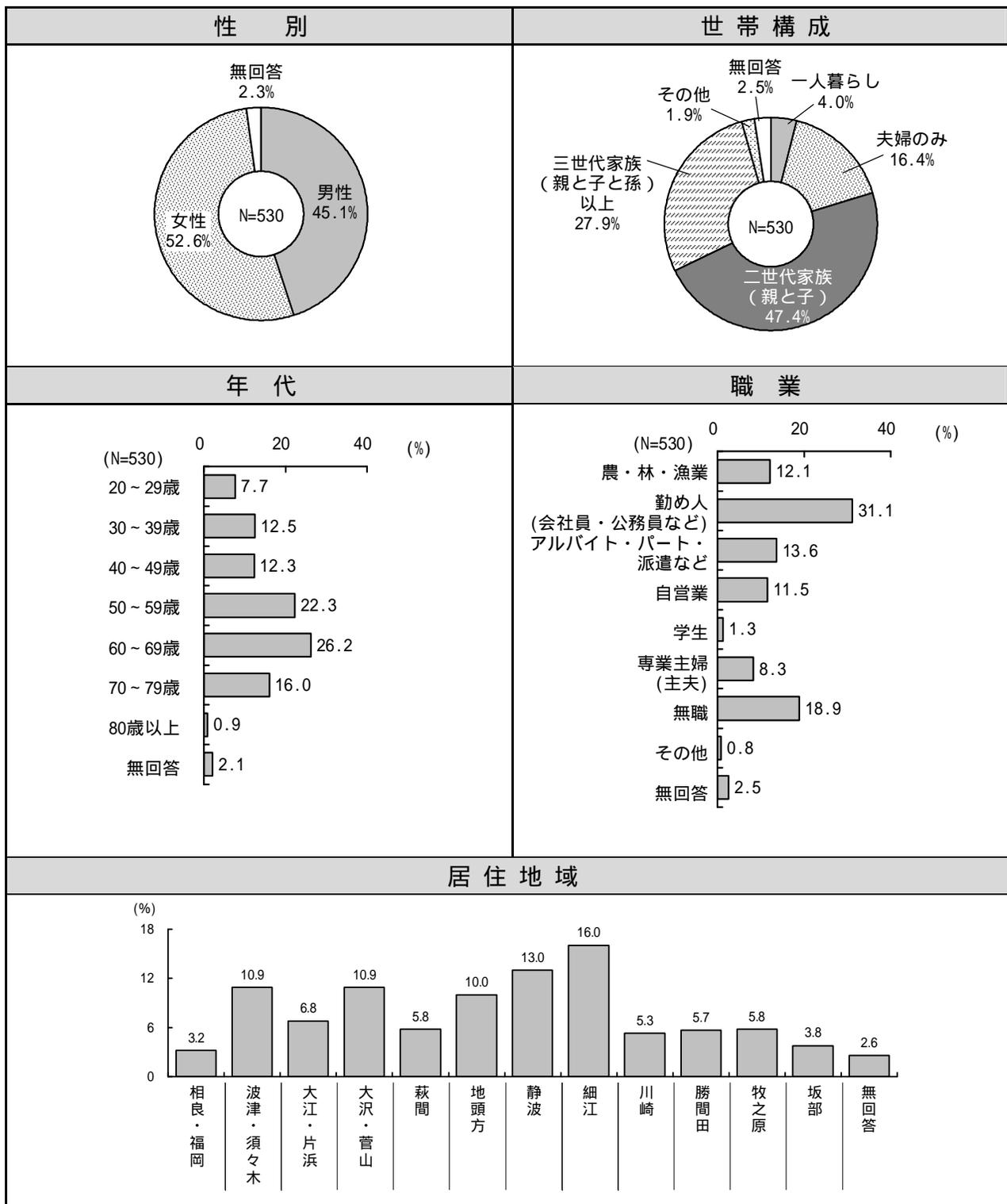
* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している

* スペースの関係で、文言の一部を省略している項目がある



散布図でみると、『35 生活環境対策などへの取り組み』『41 消防体制の整備への取り組み』『47 上水道施設整備の取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。また、重要度はいずれも高く、マイナスの項目はみられない。

< 回答者の属性 >



性別は、「男性」が 45.1% に対して、「女性」が 52.6% と、女性の方が 7.5 ポイント高くなっている。

年代は、「60～69 歳」が 26.2% で最も多く、次いで「50～59 歳」が 22.3%、「70～79 歳」が 16.0% の順となっている。

居住地は、「細江」が 16.0% で最も多く、次いで「静波」が 13.0% の順となっている。

牧之原市の取り組みに あなたの声を！

牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力 の お 願 い ～

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、市政を総合的、計画的に進めていくための指針である「第1次牧之原市総合計画」に基づき、幸福実現都市を目指し、様々な取り組みを進めています。

この調査は、皆さんの意向を把握し、これからの事務事業に反映していくために実施するものです。

今回の調査は、市内にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,300人の方を対象に行っており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入ください。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、牧之原市の発展のため、ご協力をお願いします。

なお、調査結果については、平成24年10月に公表を予定しています。

平成24年7月

牧之原市長 西原茂樹

記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。
ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞き取り等でご記入ください。
2. 回答は無記名でお願いします。
3. 回答は、設問ごとに(1つに) (3つ以内) などそれぞれ指定されています。
お間違えのないようお気を付けてください。
は番号を囲むように濃くつけてください。例()

調査票の返送と調査に関するお問合せ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒により、市役所政策協働部企画課までご返送ください。(切手は不要です。)

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ7月31日(火)までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

牧之原市 政策協働部 企画課(担当:源間・松久) 電話0548-23-0040

< 牧之原市での暮らしについてお聞きします >

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ印をつけてください。

1. 住み続けたい

2. 市内の他の場所へ移りたい

3. 市外へ移りたい

4. わからない

(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

▶ 問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。

1. 公共施設や商店がなく生活に不便だから

2. 通勤や通学などに交通面が不便だから

3. 道路などの生活基盤が整備されていないから

4. 子育てや教育環境が良くないから

5. 医療や介護の環境が良くないから

6. 自然環境が悪化しているから

7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから

8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから

9. 知人や親族がないから

10. 故郷ではないから

11. その他(具体的に :

)

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ 印をつけてください。

1. 大いに思う

2. ある程度思う

3. どちらともいえない

4. あまり思わない

5. まったく思わない

6. わからない

< 原子力発電についてお聞きします >

牧之原市では、去年の9月議会で、市議会は浜岡原子力発電所の永久停止の決議を可決し、それを受け、市長は永久停止を表明しました。現在、隣接する御前崎市にある中部電力の浜岡原子力発電所では、各原子炉は国の要請により停止しており、津波対策が進められています。

問4 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ 印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい

2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい

3. どちらともいえない

4. わからない

5. その他(具体的に :

)

< 牧之原市の行政サービスについてお聞きします >

問 5 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？ また、その取り組みが重要であると
考えますか？ 該当する欄に 印をお付けください。

取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれることと思いますが、ご家族や
知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に 印をつけてください。

(満足度・重要度について、 はそれぞれ1つずつ)

評価項目	満足度				重要度			
	満足	←→		不満	高い	←→		低い
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取り組み	1	2		4	1		3	4
みんなが主役 想いが実現するまち								
1 自治会の住民自治活動への支援（財源と人）	1	2	3	4	1	2	3	4
2 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
3 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み（市では協働を進めています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
4 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
5 行政改革の取り組み（効果的、効率的な取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
支えあい学びあう幸せのまち								
6 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
7 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 （はりはら塾や田沼塾などの取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康づくりサービスの推進 （介護予防、健診、スポーツ支援）	1	2	3	4	1	2	3	4
9 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
10 福祉施設などの整備（介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
11 乳幼児医療費制度 (現在、未就学児まで医療費助成を行っています。 基本的には1回の受診は個人負担が500円)	1	2	3	4	1	2	3	4
12 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや無料学習塾などの取り組み、 子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
13 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
14 障がい者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (平成22年3月から指定管理者制度が導入されています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
16 幼稚園・保育園の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
17 小・中学校施設の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
18 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
19 家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 文化や歴史の活用などの取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
21 音楽や演劇などの接する機会の提供	1	2	3	4	1	2	3	4
22 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
知恵や技術を活かした活力あるまちづくり								
23 茶業安定のための施策の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 商工業の振興施策の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
30 空港を活用するための取り組みの推進(情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
31 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
32 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4
33 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
うみ・そら・みどりと共生するまち								
34 自然環境の保全への取り組み(活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
35 生活環境対策などへの取り組み(ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 公害防止対策への取り組み(工場や事業所に対する取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
38 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
39 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
40 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
41 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
42 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
44 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 道路や河川の補修や道路や河川の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
46 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
47 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
48 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
49 公共交通の充実(バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の 買い物の利便性の向上の取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
50 情報通信技術(I T)の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4

<最後に、あなたご自身のことについてお聞きします>

それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

1 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

2 あなたの年齢は？

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50～59歳
5. 60～69歳 6. 70～79歳 7. 80歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？（ はひとつ）

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世世代家族（親と子）
4. 三世世代家族（親と子と孫）以上 5. その他（ ）

4 あなたの職業は？

1. 農・林・漁業 2. 勤め人（会社員・公務員など）
3. アルバイト・パート・派遣など 4. 自営業
5. 学 生 6. 専業主婦（主夫）
7. 無 職 8. その他（ ）

5 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡 2. 波津・須々木 3. 大江・片浜 4. 大沢・菅山
5. 萩 間 6. 地頭方 7. 静 波 8. 細 江
9. 川 崎 10. 勝間田 11. 牧之原 12. 坂 部

ご協力ありがとうございました。

引き続き、牧之原市議会アンケートにもお答えください。

お手数ですが、この調査票と議会アンケートを同封の返信用封筒にお入れいただき、
お近くの郵便ポストに 7月31日（火）までにご投函ください。

平成 24 年度
牧之原市 市民意識調査
報告書

発行 平成 24 年 9 月
発行者 牧之原市
企画・編集 政策協働部 企画課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059
E-Mail seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>